



2025年4月15日

株式会社あいちフィナンシャルグループ

当社グループの気候変動対応への取組みについて

株式会社あいちフィナンシャルグループ（代表取締役社長 伊藤 行記）は、サステナビリティへの取組みとして5つのマテリアリティ（重要課題）を掲げ、その一つとして「環境保全対応」に取り組んでおります。今後、脱炭素化をさらに加速していくことを目指し、取組みの充実・強化に努めておりますので、その内容をお知らせいたします。

記

1. 自社のカーボンニュートラルに向けた取組み

（1）カーボンニュートラル達成年度目標の見直し

当社グループでは、温室効果ガス（以下：GHG）排出量 SCOPE 1・2について、2030年度までに2013年度比70%削減、2050年度までのカーボンニュートラル達成を目標に掲げておりましたが、脱炭素化をさらに加速させていくため、第2次中期経営計画の策定時に、カーボンニュートラル達成の年度目標を2030年度に前倒しいたしました。

（2）CO₂フリー電力の利用拡大

すでに、あいち銀行の本店および一部店舗ではCO₂フリー電力を導入していますが、さらなるGHG排出量削減に向けて、2025年4月より、あいち銀行の店舗・店外ATM・本部施設など合計119施設で使用する電力をCO₂フリー電力に切り替えました。この取組みにより、年間約2,100tのGHG排出量の削減が見込まれ、2025年度の削減率は2013年度比80%程度となる見通しです。

(3) カーボンニュートラルロードマップ (SCOPE 1・2)

	~2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
SCOPE1	営業車両のガソリン車からHV・EV車への切り替え						
SCOPE2	既存建物の省エネ化促進（老朽化した空調設備の更新、照明のLED化拡大など）						
	CO ₂ フリー電力の導入拡大						
	太陽光発電設置・PPA活用などの検討・実施						
	新築建物における省エネ対策（ZEB対応の店舗など）						
カーボンオフセット	カーボンオフセット導入に向けた調査・検討・実施						

2. お客様の脱炭素化への取組み支援

(1) マテリアリティKPIの設定について

当社グループの主要な営業エリアである愛知県は、日本の製造業の中心地として多くの大手メーカーや中小企業が集積しています。その経済活動に伴うGHG排出量は非常に大きく、お客様の脱炭素化を支援していくことは、地域金融機関としての重要な役割であると認識しています。こうした考えのもと、当社グループでは、第2次中期経営計画の策定時に、新たなマテリアリティKPIとして、3年間で「お客様への脱炭素支援件数400件」を目標に掲げました。

(2) Persefoni Pro（パーセフォニ プロ）を活用したお客様のGHG排出量可視化支援

あいち銀行では、お客様の脱炭素経営を支援するため、パーセフォニ社（本社：米国アリゾナ州テンピ）が提供する無料のGHG排出量可視化サービス「Persefoni Pro」を活用したお客様のGHG排出量算定支援に取り組んでいます。

この取組みは、法人・個人事業主のお客様を対象に、専門的な知識が必要なGHG排出量の算定をサポートするもので、お客様の脱炭素経営の実現を後押ししています。

今回、パーセフォニ社とともに、脱炭素推進の取組みに関する動画を制作しました。パーセフォニ社のサービスを活用した当社グループの脱炭素化の取組みに加え、当社代表取締役社長による「特別インタビュー動画」も制作し、トップの脱炭素化への想いや、地域における脱炭素の取組みの方向性などをお伝えしています。

プロモーション動画 URL <https://youtu.be/XBeLUfPmsAw>

特別インタビュー動画 URL <https://youtu.be/zN46bb60--c>

以 上